



竜北中学校区の取り組み

竜北中学校区拡大 CS

【小中連携の取り組み】 オータム交電会

CS 委員さんのサポートのもと、2年生が先生役となり、各小学校で町の特産物や歴史などについて授業を行います。取り組みを通じて、ふるさとを大切にすることを養います。



竜北西部小



▲竜西かたらん会

丸付けボランティアや登下校の見守りを行う「子ども育み」と、子育て支援サロンなどを開催する「家庭教育支援」の2つのワーキンググループが活動の柱です。

毎月第2木曜日に開催する子育て支援サロン「竜西かたらん会」は、お茶を飲みながら、保護者同士が気軽に語り合えるコミュニティの場として定着しています。



▲伊藤直江会長

竜北中

自主的に参加する子どもたちと一緒に「花いっぱい運動」は、種まきから始めて約850本の花を育てるもので、校内だけでなく、公共施設にもプランターを置き、地域を花いっぱいとしています。

また、受験生への面接練習の支援など、子どもたちに寄り添う活動に取り組んでいます。



▲伊藤正昭会長

竜北東小



▲通学路の点検

安全班と家庭教育支援班で活動しています。安全班は、通学路に危険箇所がないか点検し、改善策をみんなで検討しています。

家庭教育支援班では、学校行事に合わせて保護者同士のつながりの場「にっこりくらぶ」を始めたほか、起業家体験活動の支援などを行っています。



▲中園庸子会長



▲花いっぱい運動

活動を支える「CSディレクター」稲本眞理さん

町内5校のCSとの連絡調整のほか、地域みなさんにCSの活動を知ってもらうために、2か月に1回、コミュニティ・スクールだよりを発行しています。

ふるさとを想うとき、そこに住む人の顔がふと思い浮かんでいませんか？

子どもたちにも、さまざまな活動を通じて、憧れる大人にたくさん出会ってほしいと思っています。

これからも、地域みなさんと一緒に子どもたちの成長を応援できることを楽しみにしています。



▲稲本眞理さん

氷川中学校区の取り組み

氷川中学校区拡大 CS

【小中連携の取り組み】 防災教室

小中学生やCS委員さんのほか、区長さんや消防団など地域みなさんが参加し、各地区における危険箇所の確認や災害時の対応を話し合います。



▲親子体験活動

宮原小

「好きです宮原！」を合言葉に、地域を大切にする心を育てています。

毎年11月に地域の人を講師として招き、伝統的なものづくりや史跡などを親子で学ぶ「親子体験活動」を行っているほか、毎週木曜日の放課後には、6年生が自主学習する「輝塾」を行い、学習時間を確保する工夫をしています。



▲本田博文会長

氷川中

「地域とともにある学校」づくりのために、「共育・協育・郷育」をスローガンに活動しています。

800年以上続く「三神宮秋季例祭」は、中学生も参加する伝統行事であり、地域のことを学べる貴重な機会でもあります。

ふるさとに誇りを持ってもらうために、CS委員は毎年、祭りについての講話や、活動のサポートなどを行います。



▲三神宮秋季例祭



▲四宮和明会長